

～緑川ダムだより～

令和2年2月発行
緑川ダム管理所

今年度は佐賀県の大雨による油流出事故や台風19号による関東・東北地方を中心とした大水害などがありました。緑川ダムは幸いにも大きな被害が生じるような洪水はありませんでした。

令和元年度のダムの操作状況について

洪水調節について

7月のはじめは大雨が続き、7月3日には、気象庁による記者発表がありました。

緑川ダムは大雨に備えてダム湖の貯水位を通常よりも低下させ、ダムに貯めることができる容量をより多く確保しました。

この時は、幸いにも大きな洪水には至りませんでしたが、現時点でできる対応を行ったものです。



通常よりも水位を約3m低下させ、300万m3の容量を増強し、計2,700万m3の容量（ヤフオクドーム約15杯分）を確保し洪水に備えました。

かんがい用水について

今年度は梅雨入りが遅れ、水不足となり、代掻きに支障をきたすこととなりました。

このため、緑川ダムでは熊本県からの要請により、ダムに貯留していた約500万m3の水（ヤフオクドーム約3杯分）を緊急的に補給しました。

にうのみやせき
丹生宮堰(城南町)の状況



6月19日



6月25日

ダム見学の状況について

小学生の社会科見学

美里町の中央小学校をはじめ、県内のたくさんの子供たちに学んでもらいました。（小学校47校、2070人）



間近で見るゲート

一般、団体の方々

流域の団体や県内の大学生をはじめ県外からもご家族の方など、全19組、105人の方に来ていただきました。



情報室での説明

どんど祭り

どんど祭りの際は全4回の見学会に100人を超える方々を案内することができました。



発電管を間近で

普段は入れないダムの中に入ってみてはいかがでしょうか？

また、見学後には、ダムカードをお渡ししています！

見学はお一人様からでも対応可能ですので、お気軽にお問い合わせください！！

（見学は平日[9:00~12:00、13:00~16:00]のみ） TEL:0964-48-0216

ダムカード→



■一日所長体験

8月21日、「全日本中学生水の作文コンクール」において、環境大臣賞を受賞された樋口頌子さんを招き「一日所長体験」をしていただきました。

作文コンクールは、水についての関心を高め、その理解を深めることを目的とし、「水の日」および「水の週間」の行事の一環として開催しているものです。

当日は、ゲート操作訓練やダム堤体内巡視、ダム湖の水質調査などを行ってまいりました。



■情報発信の取り組み

ホームページのトピックスでイベントの開催案内や管理所からのお知らせ、ダム見学の状況など様々な情報を発信しています。

また、放流警報表示板によるイベントの開催案内等の掲示を今年度から試行しています。放流警報表示板は本来、放流時に河川の区域内にいる人などに注意を促すことを目的としますが、この取り組みにより常時活用することで、地域の皆様に見てもらい意識付けを図っています。加えて、装置の障害等を早期発見することも期待して行っています。

☆警報表示板 活用例☆



☆トピックスはこちらから☆



■今年の4月で管理開始50年目！！

緑川ダムは昭和46年4月から管理開始され、今年4月で50年目の節目を迎えます。今後もダムの役割を十分に果たしていき、さらには地域の活性化に繋がるような取り組みを行って参りますので今後ともよろしくお願いいたします！

